



安曇野ふるさとづくり
応援団

パートナー通信安曇野 第40号

発行：NPO法人 安曇野ふるさとづくり応援団
安曇野市穂高柏原1132-2 (有) ライフポート安曇野内
TEL：0263-81-1325

2016.10.18

URL：http://azumino-furusato.com/

構成：木船



みみより情報①

「安曇野さんぽ2016秋」のお知らせ！



過去のふるさとさんぽの様子

「ふるさとさんぽ」と「さとやまさんぽ」を一体化して今年度新たにスタートした「安曇野さんぽ」。2016年秋版は、10月1日の堀金角蔵山の「さとやまさんぽ」が雨天中止となり、11月12日の豊科飯田、20日の明科東川手、27日の三郷二木下長尾の「ふるさとさんぽ」3コースで開催します。

各コースとも定員は15名、参加費が1名1000円(中学生以下無料)で、「ふるさとウォッチング」とは異なり、ぬかどおむすびの振舞いや「ふるさとパートナー」の割引特典はありません。歴史文化薫る秋の安曇野を一緒に歩いてみませんか。詳しくは別紙案内をご参照ください。

みみより情報②

「まちなかカレッジ2016秋」開催のお知らせ！

「旧保高宿まちづくり構想」の第一歩としてスタートし、4年目を迎える「安曇野まちなかカレッジ」。5回目となる今年は、10月29日～12月4日に安曇野学8講座、一般(まちゼミ)22講座の計30講座で開講します。

期間中には10月29日のハロウィンパレードや12月2日～4

日の神竹灯等の多彩な催しも予定されています。この機会に安曇野の歴史文化や暮らしに役立つ身近なことを学んでみませんか？尚、各講座の受講料は、材料費等の実費を除いて原則無料ですが、定員制のため事前の申込みが必要です。詳しくは別紙案内をご参照ください。年もくだ



みみより情報③

「安曇野セミナー」開催のお知らせ！

私達応援団が参加する、「安曇野暮らし支援協議会」では、今年から来年にかけて各地でセミナーを開きます。11月12日(土)は県の楽園信州主催合同セミナーが名古屋の中日ビルにて13時半から16時半まで。11月20日(日)は松

本市・塩尻市との3市合同セミナーが東京の交通会館にて13時から16時まで。11月26日(土)は単独開催で名古屋中日ビルにて13時から16時まで。来年の1月21日(土)は単独開催で大阪のマイドーム大阪にて13時から16時まで。それ

ぞれ予定しておりますので、安曇野に移住を考えているお知り合いの方がいらっしゃったら、ぜひご参加をお勧めください。来年の2月25・26日には安曇野での移住体験ツアーも計画しております。

報告① 「第23回ふるさとウォッチング」を開催しました。

第23回ふるさとウォッチング
10月10日(祝)参加者45名、
天候良好
宗徳寺の慶弔祭の為、スタート地点を、常念ふれあい公園から穂高神社に変更し、田中、本郷地区を巡った。この地区は、古くから穂高神社の氏子を務める地域で、訪問した田中の伊藤家には万延二年二

月二十七日と記した棟の蔵がある。
今回は神社と弓道の関わりもテーマに加えた。
弓道のバイブルともいえる、射法訓冒頭に「射は進退周遷必ず礼に中り…」とある。意味は、弓を射る全ての所作は礼に則すべしである。ご理解の一助になされたかと思います。



👉 当日の様子

報告② 「安曇野環境フェア2016」が開催されました。



👉 当日の様子

10月8・9日の二日間、安曇野市堀金総合体育館に於いて開催されました。天気は二日目の午前中を中心にすぐれなかったものの、来場者数は二日間で約1900人と盛況のうちに終わることができました。ご来場いただきました皆様、ありがとうございます。

今年は「安曇野の快適な暮らしとは？」と題し、長野県建築士会安曇野支部のイベントも併催されました。安曇野の景観に

ついでに講演をはじめ、安曇野材を利用した積木による子供ワークショップ、安曇野の水巡りの環境講座などが行われ、安曇野の魅力について再認識できたのではないのでしょうか。

開削200年を迎えた拾ヶ堰の歴史についての講座は、多くの聴講者を集めていました。

来年は記念すべき10回目となります。出展もできますので、是非、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

人物紹介

安曇野市「《初代》地域おこし協力隊員」の高尾一成(たかおかずなり)さんを紹介します。

地域おこし協力隊とは、「都市地域から過疎地域等の条件不利地域に住民票を移動し、生活の拠点を移した者を、地方公共団体が『地域おこし協力隊員』として委嘱」した人で、隊員は、「一定期間、地域に居住して、地域ブランドや地場産品の開発・販売・PR等の地域おこしの支援や、農林

水産業への従事、住民の生活支援などの『地域協力活動』を行いながら、その地域への定住・定着を図る」とのことです(総務省HPより抜粋要約)。

このまま安曇野に定住する意向の高尾さんは、将来の個人での事業展開についてもすでに計画しておられるようで、とても頼もし

い青年です。当「応援団」とも今後いろいろな面で協力して活動できるのではないかと、期待しております。

高尾さん、気負わずに「ぼちぼちやってくりやね。」。

パートナー通信をご覧のみなさん、はじめまして。9月1日から地域おこし協力隊員として、大阪府箕面市から安曇野市に移住しました、高尾 一成(たかお

かずなり)です。一応、たったひとりの「初代隊員」です(笑)。普段は市役所の二階、政策経営課という部署にあり、移住定住希望者の総合窓口というのが私のお

もな役割です。初めての一人暮らし、初めての安曇野の冬など初めてのことだらけですが、温かく見守ってください。(高尾一成)